

神奈川の研究者紹介

氏名	高瀬 ゆり (たかせ ゆり)	
現職	横浜美術大学テキスタイルデザインコース 准教授	
主な経歴	多摩美術大学大学院 美術研究科デザイン専攻修士課程修了 多摩美術大学二部デザイン科、横浜美術短期大学で非常勤講師として勤務。インテリアファブリックブランドのアートクリエイター等を経て2015年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	テキスタイルデザイン。ファブリックプロダクトとアートとの融合を目的とした“カーペット、ラグ”の研究。	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<p>1985年よりグループ展、個展多数。</p> <p>【主なグループ展】「The Strange Creature」ストックホルム国立美術学校 (1988) 「テキスタイルワーク展」札幌芸術の森工芸館 (1996)「意向する繊維-時の波動展」多摩美術大学美術館 (2004)「ARTS & CRAFTS FOR DALI」諸橋近代美術館 (2019) 他</p> <p>【主な個展】「Another Field」調布パルコ (1990)「Spring Field」TSS 東京ガスショールーム (1996) 「Jaune」「クレーの部屋」ギャラリーパリ (2013, 2015)</p> <p>【作品収蔵】 デザインツール for DALI (諸橋近代美術館 休憩コーナー) 日本デザイン学会環境デザイン部会所属</p>	
神奈川県との関わり	<p>2014～2016年「横浜スカーフ研究会」：横浜市経済局 工業技術支援センターと関連企業 学識経験者との協働による横浜スカーフ資料のアーカイブ化を行う。</p> <p>2014年「横浜トリエンナーレ2014」連携事業として市内7中学校でのテキスタイルワークショップ「ポコス」を実施。(横浜市芸術文化教育プラットフォーム)</p>	
メッセージ	<p>美術大学での新しいテキスタイル教育のプログラムを研究しています。50年前まで使用されていた手動式フックガンを本学オリジナルで復刻生産し、フックドラッグ技法によるラグデザインを美術大学として初めて教育に取り入れています。手わざによる表現の美しさはものづくりの触覚を極めます。テキスタイルのデザイン力や表現力、手触りの心地良さは人を幸福にします。テキスタイルの役割を担い、社会に貢献するクリエイティブな人材の教育を目指しています。また、現在本学の地域連携センター主任として積極的に地域や社会との連携活動を推進しています。美大としてのノウハウやスキルを活かし評価を得ています。アートやデザインはまさにコミュニケーションツールとして可能性を無限大に秘めています。神奈川県内の地域課題解決や地域づくりに積極的に参加し、アートやデザインの力を地域の活性化に役立てたいと考えています。</p>	
連絡先	<p>横浜美術大学 テキスタイルデザインコース 〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町 1204 電話：045-962-2221 (代表) E-mail:yuri-t@yokohama-art.ac.jp</p>	